

..... 編集後記

◆ 7月を迎えました。旧暦では文月です。七夕で詩歌を詠んだり書の上達を願ったりすることが由来の一つとしてあるようですが、書を書くだけでなく、書を読むことも楽しんではどうでしょうか。さて、今月号は一般記事による構成となっています。読書を楽しんで、梅雨と暑さを乗り切りましょう。

◆ 初めは、有明海における環境変化、特に底質の変化によって漁業に変化が生じていることを調査検討した秋元氏ほかによる話題です。人間活動は環境に何らかの影響を与え、生じた環境変化がそれまでの状態を変えてしまい、その結果がまた人間に戻って来ます。どのようなバランスがよいのか未解決な点の多いのが環境研究の実情でしょうが、このような環境研究の進展を期待したいと思います。

◆ 日本列島に人類が生活し始めたことを検知できるのは、過去の地層から見つかる遺物によるのですが、縄文時代からはその質と量が増加して、いろいろなことが分かってきました。最終氷期の終わりから温暖化していった当時の気候と興味深い生活スタイルを、川幡氏が紹介して下さいました。現在とはかなり違った生活を想像しながらお読み下さい。

◆ 6月号で特集した「地質情報展2008あきた」を記憶されていますでしょうか。その中で、秋田の砂を展示説明した報告がなされていますが、そのための準備で秋田の海岸を一回りしたときの須藤氏ほかによる報告です。情報展開催の一月弱前に行われた慌ただしい調査でしたが、再び秋田の浜辺を一年ぶりに誌面で巡ってみましょう。

◆ 子供の頃のお絵かきでロウ石を使用した方は多いのではないのでしょうか。そのロウ石鉱床について、「北部フォッサ・マグナのろう石鉱床」と題して、須藤氏が

シリーズで調査研究報告をして下さいます。今回は長野県の梵天山鉱床です。個人的なことになりますが、私の通った小学校が記事の地図に載っておりますので、読みながら探し当て下さい。

◆ さて、定例となった海外における地質学分野における四半期毎の話題を、高橋氏が紹介しています。今回は地質時代尺度の話題、環境・資源問題、1900年のパリ万国地質会議の記事紹介など、関連する分野の皆さんにとって興味深い話題のみならず、誰もが興味を持つようなIGCの歴史が紹介されています。

◆ 研究機関にとってその成果を社会に還元する活動は必須ですが、諸外国に伝えていくことは国際協力にもつながります。GSJではAPEC研修コース「都市と沿岸域における防災」を昨年開催いたしました。防災はAPEC諸国にとって関心の高い事項であり、最先端の講義や施設紹介など、森田氏ほかによるその開催報告は自国民にとっても興味深いものです。

◆ 北海道で開催された地質情報展のメインイベントの一つである化石レプリカ作りの報告を、中島氏ほかが行って下さいました。また、つくば科学フェスティバルに出展した化石キャスト作りイベントの様相を利光氏ほか、産総研九州センター一般公開およびつくば産業フェアでの「移動地質標本館」の出展報告を吉田氏ほかが行って下さいました。地質を身近に感じ、体験してもらう様々なイベントが精力的に行われている様子が伝わってきます。最後は、小松原氏による火山災害に関する新刊紹介です。

◆ 本誌2009年4月号の目次において、口絵「地質情報展2007北海道」の著者名が「吉田朋弘」となっておりますが、「地質情報展事務局」の誤りでした。ここに訂正してお詫び申し上げます。（金井 豊）

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 渉

委員：重松紀生・杉原光彦・中嶋 健・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第659号	2009年	7月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2009年7月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年（IYPE）に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2009 Geological Survey of Japan